


【個人】

提出 2022年5月23日

## 山 行 報 告 書

山行報告提出者 : 鈴木

山 域・山 名：八経ヶ岳（1,915m）（奈良県吉野郡天川村）	
入山日： 2022年5月20日（金） 日帰り	
プラン担当者 正： 鈴木 副：	山頂風景
参 加 者 男 1名、女 名、計 1名	
天候：薄曇り	
5/19(木)	22：10 東京八重洲発夜行バスにて奈良駅へ 5/20 レンタカーで行者還トンネル東にて路上駐車（工事行き止まりで路駐可）
5/20（金）	10：45 出発－11：30 一の峠－12：00 奥駆道出合－12：40 聖宝ノ宿跡－ 13：20 弥山小屋－14：00 八経ヶ岳－14：30 弥山小屋－15：15 聖宝ノ宿跡 －15：45 奥駆道出合－16：10 一の峠－16：35 行者還東下山 奈良市内で宿泊し5/21 帰宅（行動：5h50m）
荒天候時のエスケープルート： その場で引き返す。	
装 備 と 食 糧	共同装備： なし 共同食：なし 車提供者： レンタカー
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、水、帽子、グローブ、ツェルト、 コロナ対策品（マスク、消毒液） 個人食：昼食 プラス行動食
感 想	行者還トンネル西から入山の予定であったが、土砂崩れで通行不能を直近知り往復 1 時間ほど歩行が長いトンネル東から入山する。いきなり急登が続き一の峠までは息が切れる。その後傾斜は緩くなり快適な笹原が現れたり木々の間から眺望が得られたり、足はどんどん前へ出た。弥山は小屋やベンチがありゆっくり休めるが、八経ヶ岳まではまだ 100mほどの登り返しがあり、簡単には山頂に到着しない。山頂は遮るものも無く展望は良かったものの薄曇りで遠景は望めず平凡な風景が見られたのみ。帰路、暗い中での林道走行を避けるため、ほとんど休みなしで下山し明るいうちに市街地まで降りられた。下山後は奈良市内で宿泊、翌日鹿の落とし物を踏んづけまいよう注意して帰宅した。